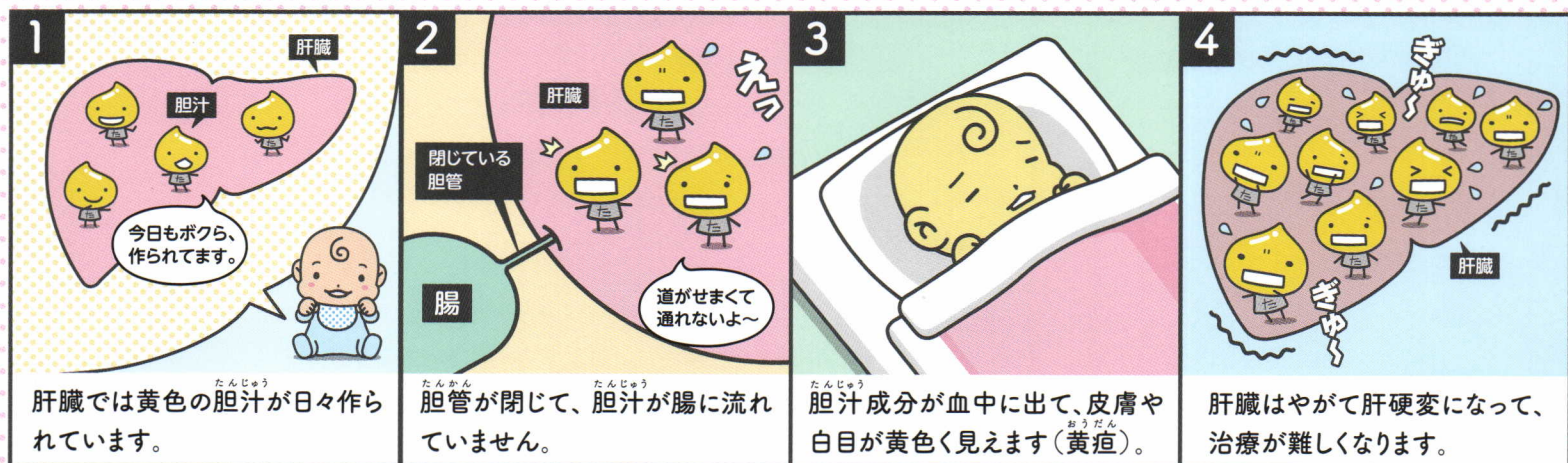


赤ちゃんのうんちの色に 注意しましょう

便色カードで胆道閉鎖症をチェック!

た ん ど う へ い さ し ょ う

胆道閉鎖症ってどんな病気?



胆道閉鎖症の特徴と症状

- 1万人に1人の赤ちゃんがかかる病気です。
- うんちの色がうすい黄色、うすいウグイス色、白っぽい色など、便色カードの1～3番に近い色になるのが大きな特徴です。
- ②のほかに、皮膚や白目の黄疸があり、濃い黄色のおしっこが出たら、1日も早く、医師にそのことを伝えて、小児外科または小児科を紹介してもらいましょう。
- ④検査は最寄りの小児科でもできますが、治療や手術は専門の医療機関(小児外科)で行います。(県内の小児外科：新潟大学医歯学総合病院、新潟市民病院、長岡赤十字病院、新潟県立中央病院)
- ⑤早期発見と早期手術で、より良い結果が期待されています。

発見と手術が遅れると…?

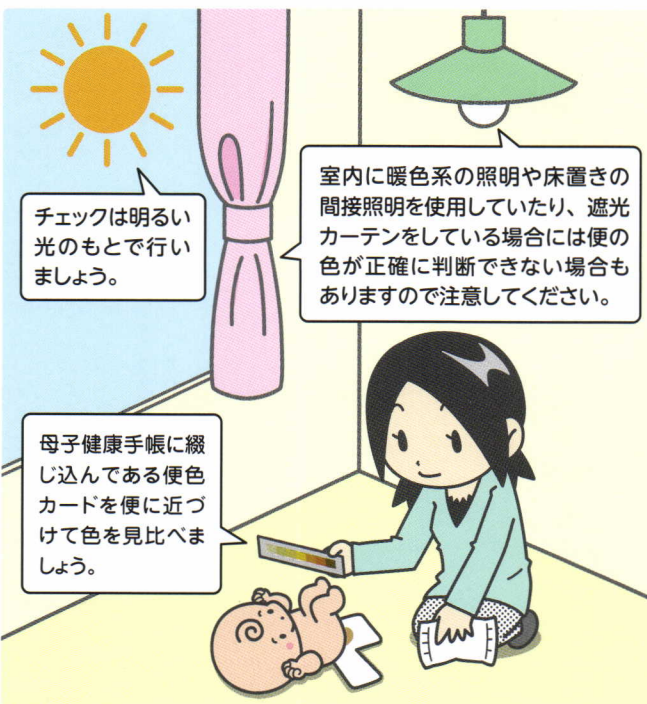
肝硬変が進行して肝不全になったり、手術をしても十分な効果が得られなかったりします。時には頭蓋内出血を生じることもあります。

便色カードについて

母子健康手帳に綴じ込んであります。便と便色カードを見比べましょう。

※便色カードのみでは、正常・異常の判定はできません

便色カードの使い方



便色がうすく、黄疸があり、濃い黄色のおしっこなら! 1日も早く医師に見てもらいましょう。その時、なるべく新しい便を持って行ってください。

<問い合わせ先>

●市町村母子保健担当課

●新潟県福祉保健部健康対策課 025(285)5511(代表)



